

いきものふれあいの里

「陶史の森」 だより

土岐市ネイチャーセンター ☎ 5144

鳥の子育て

陶史の森のネイチャーセンターに設置してある巣箱にヤマガラが6個の卵を産み、かわいいひなが誕生しました。親鳥はひなにせっせと餌を運んで子育てをし、ひなは無事に巣立っていきましました。雨の日も風の日も愛情をたっぷり注いで子育てをする姿を見て、けなげで立派だと感心しました。

しかし、中には子育てをまるつきりほかの鳥任せにするものがあります。それはホトトギスです。ホトトギスはウグイスなどの巣に自分の卵を産み、代わりに、そこにあった卵を1つ放り出します。また、ウグイスよりも早くかえることの多いホトトギスのひなは、ほかの卵をすべて巢の外へ押し出してしまいます。何も知らないウグイスは、自分より大きなホトトギスのひなを一生懸命育てるのです。このような子育ての仕方を「**托卵**」といいます。

一般的には「トツキョ キョカキョク」と聞こえるといわれるホトトギスの鳴き声が、時々「(托卵の)トツキョ キョカキョク」と鳴いているように聞こえます。しかし、これはホトトギスの話。私たち人間が自分の子どもを誰かに託し、育児放棄をするなんて許されるはずありませんね。

二十四節季ではもうすぐ立秋。夏のホトトギスは、間もなく南へ帰って行きます。

森の日記

ミツバチ教室 6月19日(日)

梅雨の合間を縫って、ミツバチ教室が行われました。30家族約100の方が参加され、東濃西部養蜂組合長の小木曾さんの説明に、身を乗り出して聞き入っていました。その後、ネットの付いた帽子をかぶって森の中に設置してあるミツバチの巣を観察したり、みつを遠心分離器で搾ったりしました。搾りたてのみつをパンに付けて味わった参加者の皆さんは、幸せそうな表情に包まれました。



羊の赤ちゃん、陶史の森へ 6月21日(火)

加茂郡白川町から陶史の森へ、かわいい2頭の子羊がやって来ました。雄と雌の1頭ずつで、チェビオットとコリデール、シェットランドの雑種です。2頭は広い羊牧場でのびのびと草を食んだり、じゃれ合って遊んだりしています。ぜひ見に来てください。

教室のご案内

8月

- 昆虫教室(要申込・定員20人)
8月7日(日)午前9時~11時30分
昆虫採集と観察、標本作り
- バードウォッチング(自由参加)
8月28日(日)午前9時~11時30分
夏の野鳥を観察(雨天中止)

9月

- 秋の虫の音教室(要申込・定員20人)
9月3日(土)午後7時~9時
秋に鳴く虫を探し、音を楽しむ
- 草木染め教室(要申込・定員20人)
9月18日(日)午前9時~11時30分
植物を使って自然の草木染めをする
- バードウォッチング(自由参加)
9月25日(日)午前9時~11時30分
秋の野鳥を観察(雨天中止)

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。